

「自助自律の人づくり」で社会を元気にしたい ——— インタビュー

エルシーアールを設立した目的は なんですか？

株式会社エルシーアールの前身は株式会社栃木生活文化総研です。1991年に会社を設立した時はこの社名に思いを託しておりました。当時はバブルがはじける寸前で、人々の消費活動が非常に活発でしたし、人々のライフスタイルも多様化しておりました。そのような背景から企業の方向性を決めるマーケティングリサーチを行う“シンクタンク”を立ち上げたいと思ったのです。（事業拡大にともない2000年に社名を「エルシーアール」に変更）

設立当時の事業展開は どのようなものでしたか？

シンクタンクと言っても名ばかりでいっこうに収益が上がらず、正直、設立時の1、2年は資金繰りに追われました。しばらくして事業を市場調査だけに絞るのは難しいと考え、新たな事業に着手しました。それは、“経営コンサルティング”と“人材育成”の事業です。この2つは全国のシンクタンク業界では定番事業でしたし、直観的に県内の需要を感じておりました。地元が気の利く経営コンサルティング会社がなかったのも一つの要因でしょう。

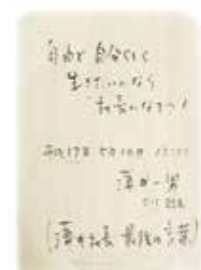
30年間、経営してきた 大変だったことはありますか？

今振り返ると、一番の危機は2005年に二代目社長、薄井一男氏が病気により急逝したことであったと思います。その時、すでに社長を退いて名ばかりの会長であった私が急きょ社長に復帰しました。

私は薄井氏に会社経営を完全に移譲していたので、現場のことがわからず会社の状況把握、対応に苦戦しました。しかし、薄井氏の側近であった荒井浩通（現・専務取締役）が窮地をしのぐ活躍をしてくれ、その結果、早期に会社は軌道に乗りました。今思うと、このときの経験が「ピンチをチャンスに変える」という全社的な自信につながった気がします。

薄井氏の遺したものは何ですか？

薄井氏は亡くなる3日前に、偶然ですが私に遺言のような言葉を残していました。「自由で自分らしく生きたいのなら社長になろう！」という言葉です。おそらく彼自身が経営者になった時に大いなるやりがいと価値を見出していたのだと思います。私は彼が亡くなってすぐにこの言葉を私の社長室の壁に貼りました。私はこの言葉から“自由で自分らしい経営”を実践しようと思って今日まで努めてきました。



最後となった
薄井氏からのメッセージ

PROFILE



株式会社エルシーアール
代表取締役

渡辺 孝雄

1956年、栃木県鹿沼市に生まれる。拓殖大学を卒業後、宇都宮市の食品機械開発メーカー・レオン自動機株式会社に入社し、その後、出版社（月刊・財界とちぎ）を経て29歳で独立。1987年に株式会社ビジネスステーション21、1991年に株式会社エルシーアール、株式会社キープ（現キープキャリエール）を設立。厚生労働省産業カウンセラー、日本交流分析協会交流分析士准教授の資格を取得し、現在、国立宇都宮大学の客員教授（実践企業人材論 /15年間教鞭）としても活躍中。

エルシーアールの社員について どう思われますか？

当社の企業理念は「自助自律の人づくり」です。この理念どおり、当社には誰かに頼るのではなく、自分自身の意思で道を切り拓いていこうとする社員が集まっていると思います。そして、自助自律の精神は社風となり浸透しています。元来、社風は社長の価値観や個性で形づくられるものかもしれませんが、当社では一人一人の社員の思いや人間性で自然発生的に社風が醸成されている気がしています。私はそのことを大切にしたいと考えています。現在の役員と経営幹部、そして、社員一人一人がそれぞれの個性を如何なく発揮してくれて融和させ、素晴らしい社風“自助自律の精神”をつくってくれたと思います。

今後のエルシーアールについては どうお考えですか？

私は会社設立以来ずっと「すべては人にあり」と思っています。つまり、会社にとって「人は資本なり」と言うことです。この考えを今後も貫いていこうと思っています。そのために、当社は後継者育成をはじめ管理職の育成、そして、広く一般社員の育成において、さらに高いノウハウを身に付け、指導性を発揮していきたい。同時に人を育て、生かすための組織づくりのコンサルティングも強化していきます。地元にもしっかりと“人づくりに貢献できる企業”があるということをこれまで以上にお伝えしていきたいと思っています。

エルシーアール30年の歩み

1991.1 ● (株)栃木生活文化総研
(現エルシーアール) 設立

1992.5 ● (社)栃木県生活文化協会 設立
(後に一般社団法人)

エルシーアールにとって将来を担う事業としてスタート。栃木県の文化、特に芸能と食文化を後世に伝えていこうという理念のもとに設立。会員は地元企業で、企業の利益を地元の文化伝承のために還元していこうとする活動だった。当時は県内のトップ企業が賛同し、150社ほどが集まり会員に。25年間活動した。

1994.10 ● 栃木県住宅協会事務局運営 受託

1995.1 ● ラポール館完成(現本社ビル)



1995.10 ● マロニEKIRIN会事務局運営 開始

1999.7 ● とちぎニュービジネス協議会 設立

東京に本部、各都道府県に支部があり、活動していた組織。栃木県に支部がなく創設の希望の声が上がリ、当社がその設立のすべてを担った。これから会社を起こす人、起こしたばかりの人、新規事業を展開したい人が勉強する会として、また若手のベンチャー企業家が相互に研鑽する場として、現在も発展し続けている。

2000.7 ● 社名を「株式会社エルシーアール」に変更

2000.9 ● M&Aコンサルティング事業 開始

2000.12 ● ISO認証取得コンサルティング 開始

この事業により当社の経営基盤が強化。ISO認証取得コンサルティングの実績数は栃木県内においてトップを誇る。エルシーアールの認知度も上がった。

2004.1 ● 茨城県住宅協会事務局運営 受託

● 新理念「自助自律の人づくり、
組織づくり、国づくり」制定

薄井一男が二代目社長に就任。新理念「自助自律の人づくり、組織づくり、国づくり」を制定。2005年5月13日に逝去するまでこの理念のもとに会社を運営。

2004.3 ● 人材戦略コンサルティング 開始

2008.7 ● ラポールプライテストクラブ
(RBC) 発足

● 人材活力道場 開始

2009.1 ● 企業理念
「自助自律の人づくり」に改定

2005年に渡辺孝雄が三代目社長に復帰。企業理念を「自助自律の人づくり」に改定。まずは人にフォーカスした事業を展開し、多くの企業を元気にするという使命をもって再スタート。

2009.3 ● RBC特別講演会 開始

2009.8 ● 経営革命塾、後継者修練塾 開始



2011.5 ● 東日本大震災チャリティー講演会 実施

2011.11 ● 「宇都宮まちづくり貢献企業」認証(CSR)

2012.4 ● 謙成塾スタート

謙成塾はエルシーアールの代表的な事業（塾頭：渡辺孝雄）。これまで100社以上が参加。「謙虚さをもって事を成す」という意味の経営者育成の場で、謙成塾の名称は社内公募で決定。

2015.7 ● M&A情報会員制度スタート

2017.2 ● (一社)栃木県生活文化協会 解散

2020.8 ● 「とちぎ健康経営事業所認定制度」認定

● 「いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」
登録

ES（従業員満足）の向上に向けた健康経営の組織を目指す。仕事の合間にはニコニコ体操なども楽しく実施中。



とちぎ健康経営事業所
認定証



いい仕事いい家庭
つぎつぎとちぎ宣言